重点項目の代替措置について

資料１－３

１　タンク配管への緊急遮断弁の設置（許可容量：500ｋL以上）（第２、３期）

　　第２期対策計画の令和元年度の進捗状況（参考）において、代替措置を含め「未対策」と回答のあった３事業所に対し、取組み状況をヒアリングした。

　〇ヒアリング結果

　　・受入れ・受け払い時以外は、主要な配管の弁は閉止している。

　　・災害発生時は、速やかに運転作業員が手動で閉止することとし、閉止手順の教育、訓練を実施している。

　　⇒**代替措置として認められる。**

**令和２年度実績では、「代替措置（弁は未設置）」に分類する。**

**引き続き、すべての配管への緊急遮断弁の設置を促進する。**

（参考）第２期対策計画（令和元年度）の進捗状況

２　小規模タンクの漂流対策（３期）

事業所アンケートにおいて、管理油高の下限値の見直し以外の対策として、回答があった事例について、代替措置として認めるか検討する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **対　策** | **代替措置の内容** | **進捗状況の評価（案）** |
| 防油堤の設置　（追加） | 津波の波力に対する耐力を有し、津波高さ以上の防油堤を設置する。 | 　◎対策実施 |
| タンク注水 | 津波が想定されるとき、滑動等が発生しない管理油高まで注水する。 | 　〇代替措置 |
| 他のタンクからの内容物の移送　（追加） | 予め移送能力などの計算を行い、地震による配管の破損・危険物の漏えいがないことの確認後、近隣のタンクから内容物を移送できるようにする。 | ○代替措置 |
| アンカー等による固定 | タンクをアンカー等で固定する。（津波に対する強度計算がされている場合に限る） | ○代替措置消防庁において、滑動対策等の検討がされており、その成果を考慮する。 |